

# 過去の高潮等の被害とその対応の事例

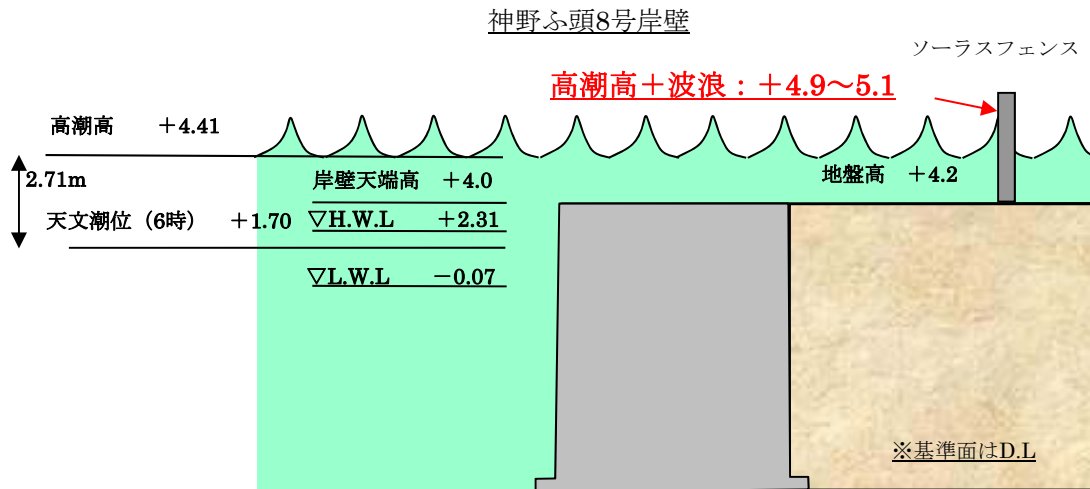
---

# 高潮による被災状況と避難体制(三河港:平成21年台風18号)

## 【災害・被災の概要】

- ・平成21年10月8日(木)6時頃、愛知県三河港(重要港湾)神野ふ頭7号及び8号岸壁背後に蔵置されていた空コンテナ136個が、台風18号の影響により、横転又は散乱する被害が発生
- ・平成21年10月9日(金)午前中から、国総研、港空研、中部地整が現地調査を実施し コンテナ散乱の原因は、SOLAS用フェンスにおいて地盤から70~90cmの高さに浮遊ゴミの痕跡あったことから高潮・波浪によるものと特定

## 【被災時の高潮高さ】



## 【被災状況写真】



## 【港湾管理者が行った避難に関する措置】

- ・避難勧告等の避難に関する措置は行っていない。
- ・防潮扉の運用は市に委託しており、港湾管理者が指示を出す前に、市が自主的にすべての防潮扉を閉鎖した。

防護措置

## 【地元自治体(豊橋市)が行った避難に関する措置】

- ・河川の水位上昇に対する避難勧告を行った。
- ・高潮による海面上昇については、防災無線にて注意喚起を行った。

## 【港長が行った避難に関する措置】

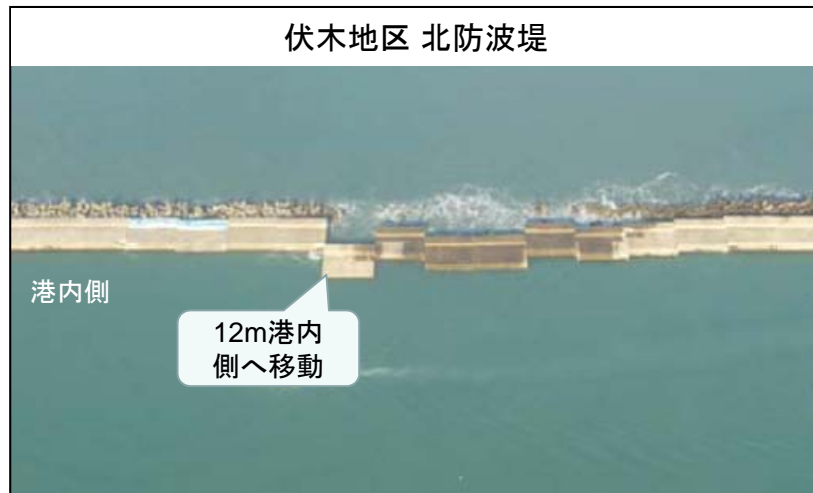
- ・船舶に対して沖合への待避を指示した。(第2警戒体制発令:10/7 15:00)

避難情報の提供

## 【災害・被災の概要】

- ・平成20年2月23日から24日にかけて発生した「うねり性波浪」により、伏木富山港 伏木地区の北防波堤(全長1,500m)の約800mにわたって消波ブロックの散乱やケーソンが最大で12m滑動。万葉ふ頭緑地においても越波による浸水、陥没等の被害が発生。(その他、県内各地で人的被害(死者2名)を含めて海岸、漁港の施設被害が発生)
- ・被災直後から現地調査を実施し、技術検討委員会(委員:学識者、港空研、県、国)を計3回開催し、うねり性波浪の特性把握と被災メカニズムの解明、今後の対応策についての検討を行った。

## 【被災状況写真】



## 【港湾管理者が行った措置】

- ・越波による浸水のため、臨港道路伏木万葉1号線等3路線で通行止め措置。
- ・越波による被災を受けた、または危険性のある緑地、岸壁等については立入禁止措置。被害の拡大を防ぐ。
- ・県営渡船は、波浪警報発令に伴い、全面欠航。

防護措置

## 【地元自治体が行った避難に関する措置】

- ・伏木富山港が位置する高岡市、射水市、富山市では避難勧告・指示等の発令はなし。
- (※参考:入善町150世帯に24日6:28避難勧告、11:26避難指示、25日11:07避難勧告へ移行、27日9:05解除)

避難情報の提供

# 高潮による被災状況と避難体制(高松港:平成16年台風16号)

## 【災害・被災の概要】

平成16年の台風16号に伴う高潮では、高松港で既往最高潮位を記録し、高松港からの越流や越波等により高松市内で床上浸水3,538戸、床下浸水12,032戸という未曾有の被害を被った。

## 【被災状況写真】



## 【港湾管理者が行った措置】

- ・高潮による浸水のため、臨港道路を含めた県道で通行止め措置。
- ・防潮扉についてはすべて閉鎖。

防護措置

## 【地元自治体が行った避難等に関する措置】

### 水防本部等設置状況

- ・H16.8.30 7:50 香川県水防本部を設置
- ・ 18:30 香川県災害対策本部を設置
- ・ 22:00 高松市災害対策本部を設置(同時に高松市内沿岸地域に順次避難勧告)

避難情報の提供

台風が四国地方・中国地方を通過した22時頃から、潮位は急激に上昇し、高松市沿岸地域一帯が短時間で浸水。広範囲に逃げ遅れた住民が発生したため、警察署員・機動隊員等・消防職員・消防団員・市関係者と情報交換を行い、浸水箇所を中心に救助活動・誘導活動を行った。

避難ができなかった人の救助